

第5章

教育・文化

学ぶ楽しさを増やす

～ 学ぶ機会に満ちる ひと ～

施 策

- (1) 学校教育の充実
- (2) 文化芸術の振興
- (3) 生涯学習の充実
- (4) スポーツ・レクリエーションの振興
- (5) 互いに尊重しあえる社会の実現

学ぶ楽しさを増やす ～ 学ぶ機会に満ちる ひた ～

教育・文化

5 - (1)

(1) 学校教育の充実

- ① 子どもの力と意欲を伸ばす学校教育の充実
- ② 小中連携・小中一貫教育の推進
- ③ 安全・安心な教育環境の確保
- ④ 教育環境の整備
- ⑤ 家庭・地域と協働した学校づくりの推進
- ⑥ 安全・安心な学校給食の提供



現状と課題

- ・地域の特性を生かした特色ある学校教育を展開しながら、子どもたちの「郷土愛」や「たくましく生きる力」などを育てなければなりません。
- ・特別な支援を必要とする児童生徒の教育的ニーズに応じた指導や支援の充実、いじめや不登校児童生徒の早期発見・対応の徹底を図る必要があります。
- ・児童生徒の学力や運動能力等については、調査等に基づく課題発見を通して、その課題解決に向けた取組を行う必要があります。
- ・小学校から中学校への環境変化による不安をなくすため、交流研修等を通して小中の連携を図っていく必要があります。
- ・学校施設の耐震化や普通教室における空調機器の設置等は完了しており、今後は既存施設の長寿命化^{*1}や特別教室等への空調機器の設置等が必要となります。また、防災や通学等における児童生徒の安全を確保する取組が必要です。
- ・情報分野の飛躍的な発展に対応したシステムの再構築やタブレット端末^{*2}などによるICT^{*3}教育の推進が求められています。また、学校図書の充実等、児童生徒が豊かな教育環境の中で教育を受けられるように取り組む必要があります。
- ・教育の機会均等や保護者の経済的負担軽減等を目的に奨学金や就学援助等に取り組んでおり、今後も子どもの貧困対策として安定的な事業継続が必要です。
- ・学校評価^{*4}を活用した学校運営の組織的、継続的な改善を図るとともに、家庭、地域と学校の目標や方針を共有・協働した組織的な取組が求められています。
- ・成長期にある子どもたちの健康な心身を育むためには、望ましい食習慣につながる食育^{*5}を推進していく必要があります。また、子どもたちに安全な給食を提供するためには、食材の購入や調理段階における注意、検収の強化と、学校給食施設の計画的な維持補修が必要です。

小学校授業風景



ICTを活用した授業

*1 長寿命化

定期的な点検の実施や必要に応じた維持補修を行うことで、施設等の耐久性を向上させ、長持ちをさせること。

*2 タブレット端末

薄い板状のパソコンや携帯端末の総称で、表示画面に直接触れることで操作可能なタッチパネルを搭載した持ち運び可能なコンピュータ。

*3 ICT

Information and Communication Technologyの略。情報・通信に関連する技術の総称。

*4 学校評価

学校運営について、学校が自ら行う自己評価と地域や保護者などの関係者からの評価に基づいて、組織的・継続的な改善を図るシステム。

*5 食育

食を通して、生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性を育み、生きる力を身につけること。

基本方針

- ・咸宜園教育の理念*6を取り入れた特色ある学校経営に取り組むとともに、学力の向上を目指して、児童生徒の「学びに向かう力」や「思考力・判断力・表現力」等の育成を図り、また、道徳教育の充実や体験活動の推進等により、子どもたちの豊かな人間性や社会性の育成を図ります。さらに、運動の習慣化・日常化を推進することにより体力の向上を図ります。
- ・いじめ、不登校などの問題の未然防止と早期発見・解消を図り、一人ひとりの教育的ニーズに応じたきめ細かな指導の充実を図るため、校内体制や関係機関と連携した取組を充実します。
- ・小中学校のスムーズな接続を図るため、9か年を見通した学習活動を展開します。
- ・学校施設の長寿命化や特別教室等への空調機器の設置等により快適な学習環境を提供するとともに、児童生徒の防災対策や安全対策の充実に取り組みます。
- ・ICT環境や学校図書等、より充実した教育環境の整備に取り組みます。
- ・安定的な就学支援により安心して学べる教育環境づくりを推進します。
- ・コミュニティ・スクール*7の設置等により地域と協働して子どもを育てていく学校づくりを推進します。
- ・食育を推進するため、各教科や特別活動を通じた食に関する指導の充実を図るとともに、育友会・PTA*8と連携して保護者や家庭への啓発に取り組みます。また、安全・安心で栄養バランスの取れた給食の提供に努めます。
- ・学校給食施設については、地域の状況や調理食数等を考慮し、施設のあり方と効率的な運用の検討に取り組んでいきます。

*6 咸宜園教育の理念

廣瀬淡窓が創設した咸宜園における教育の根本的な考え。個性や自主性の尊重、能力の向上、人間性や社会性の育成、人格の涵養等。

*7 コミュニティ・スクール

保護者や地域の方々や学校運営について協議する学校運営協議会を置く学校。保護者や地域の意向が学校運営に反映されるとともに、保護者や地域の方々も学校運営に一定の責任を持って関わっていくことになる。

*8 育友会・PTA

児童・生徒の保護者と教職員が協力して教育効果の向上を図ることを目的とする学校単位の組織。(PTAはParent-Teacher Associationの略。)

コミュニティ・スクール概要図



※学校運営の責任者は校長であり、学校運営協議会が校長の代わりに学校運営を決定・実施するものではありません。

主要施策と主な取組

- ① 子どもの力と意欲を伸ばす学校教育の充実
 - ・ 咸宜園教育の理念を生かした学校経営の推進
 - ・ 確かな学力と豊かな心の育成、健康・体力づくりの推進
 - ・ いじめ・不登校対策と教職員研修の充実、強化
 - ・ 一人ひとりの教育的ニーズに応じたきめ細かな指導の充実
 - ・ 望ましい食習慣につながる食育の推進
- ② 小中連携・小中一貫教育の推進
 - ・ 小中連携教育 *₁ の推進
 - ・ 小中一貫校 *₂ の特色を生かした教育の推進
- ③ 安全・安心な教育環境の確保
 - ・ 学校施設整備や校内バリアフリー化 *₃ の推進
 - ・ 学校内遊具等の施設管理の徹底
 - ・ 学校内外における児童生徒の安全対策の充実
- ④ 教育環境の整備
 - ・ 複式学級 *₄ の解消による教育環境の充実
 - ・ ICTによる教育環境整備の推進
 - ・ 就学援助や公費負担による学力定着補助教材 *₅ の購入等、就学支援に関する事業の推進
- ⑤ 家庭・地域と協働した学校づくりの推進
 - ・ 学校評価等の活用
 - ・ コミュニティ・スクールの推進
- ⑥ 安全・安心な学校給食の提供
 - ・ 安全かつバランスの取れた給食の提供
 - ・ 学校給食施設の適正な維持管理と効率的な運用



小学校における食育の取組

関連する主な計画

- ・ 日田市教育大綱
- ・ 日田市教育行政実施方針
- ・ 日田市まち・ひと・しごと創生総合戦略

目標指標

指標名	基準値 (平成27年度)	目標値	
		平成31年度	平成39年度
児童生徒の学力(思考力・判断力・表現力等、 全国平均以上の児童生徒の割合)	小学生:60.5% 中学生:38.0%	小学生:62.0% 中学生:54.0%	小学生:63.0% 中学生:57.0%
不登校児童生徒の出現率	1.03%	1.00%以内	0.85%以内

*₁ 小中連携教育

中学校入学時に子どもが感じる小学校と中学校の段差を滑らかにし、スムーズな接続を図るため、校区の小学校と中学校が連携して取り組む教育活動。

*₂ 小中一貫校

小学校から中学校までの9年間の義務教育を一貫して行う学校。

*₃ 校内バリアフリー化

学校施設において、安全かつ円滑に利用できる施設を整備する観点から、支障となる物理的な障害を取り除いていく考え方。

*₄ 複式学級

2つの学年以上の児童・生徒を1つの学級に編制した学級。

*₅ 学力定着補助教材

児童生徒の学力定着につながる教科書以外の副読本やドリル等補助的な教材。

学ぶ楽しさを増やす ～学ぶ機会に満ちる ひた～

教育・文化

5 - (2)

(2) 文化芸術の振興

- ① 文化財や芸術文化の保存、継承と発展
- ② 学習の場の提供及び人材育成と確保
- ③ 文化芸術の鑑賞や活動機会の提供
- ④ 情報の相互発信と交流の促進
- ⑤ 文化遺産の調査・研究及び情報発信の推進



見送幕・水引幕の展示風景

現 状 と 課 題

- ・本市には、貴重な文化財が数多く残されています。今後もこれらを保存、継承していくため、引き続き環境整備、修復の技術者育成や支援等が必要です。
- ・市所蔵美術品は日田市複合文化施設AOSE（アオーゼ）に整備された収蔵庫で管理されています。今後も適正な管理の下、活用していく必要があります。
- ・文化財の公開展示、各種講座による学習の機会の提供や伝統芸能や伝統技術を地域特有の文化として継承するための支援を行っていますが、さらなる普及啓発が必要です。
- ・文化芸術の鑑賞機会の充実や児童生徒の文化活動が重要です。団体の活動や公演などの情報を広く収集していくとともに、文化活動を幅広く支える人材の育成が必要です。
- ・郷土の先哲「廣瀬淡窓 *₁」、私塾「咸宜園 *₂」等の調査、研究を行っています。その成果を広く情報発信し、市民に文化財の大切さを再発見する機会を提供していく必要があります。

基 本 方 針

- ・日田祇園の曳山行事 *₃ をはじめとする文化財の保存と修復、継承を行うため、補助金等を活用するとともに、国、県、地域と連携した取組を推進します。
- ・咸宜園西塾や永山布政所（日田陣屋）などに関する調査を進め、文化財の保存と継承、活用に努めます。
- ・市所蔵美術品等の適正な管理と活用に努めます。
- ・文化財資料の活用や後継者育成を支援し、文化財や芸術文化に対する理解を深めるための啓発活動や人材育成を推進します。
- ・市民のニーズに応じ優れた文化を楽しむことのできる鑑賞機会の充実に努め、地域の文化水準を向上させるため、文化団体や活動などについての情報収集・発信を図ります。
- ・「廣瀬淡窓」や私塾「咸宜園」に関する調査とその情報発信によって市民の意識高揚を図り、咸宜園の「世界文化遺産」の登録に向け市民と一体となった取組を推進していきます。

*₁ 廣瀬淡窓

私塾「咸宜園」の創設者。「三奪法」や「月旦評」、「規約」、「職任」などの独自の教育制度を生み出し、近世・近代日本の教育に大きな影響を与えた。

*₂ 私塾「咸宜園」

江戸時代後期に生まれた儒学者・廣瀬淡窓が豊後・日田の地に開いた日本最大規模の私塾（学校）。

*₃ 日田祇園の曳山行事

毎年7月20日過ぎの土日に、隈地区の八坂神社、竹田地区の若宮神社、豆田地区の八坂神社の三社で行われる祇園祭の総称。

主要施策と主な取組

① 文化財や芸術文化の保存、継承と発展

- ・自然や文化財等の文化資源を保存、継承及び活用するための取組の充実と施設整備
- ・市所蔵美術品等の適正な管理と活用

② 学習の場の提供及び人材育成と確保

- ・文化財に関する講座の開設や展示、後継者育成事業の支援
- ・文化ボランティア *4 の育成
- ・日田市文化芸術奨励金 *5 の交付

③ 文化芸術の鑑賞や活動機会の提供

- ・舞台公演や展覧会などの開催
- ・市民文化振興基金 *6 事業の実施
- ・日田市文教祭 *7 の開催

④ 情報の相互発信と交流の促進

- ・日田市民文化会館(パトリア日田)、日田市複合文化施設AOSE(アオーゼ)の情報発信
- ・講演会等に招へいたアーティストによるワークショップ *8 やアウトリーチ *9 の実施

⑤ 文化遺産の調査・研究及び情報発信の推進

- ・咸宜園教育に関する調査・研究の充実及び普及啓発の推進
- ・咸宜園や日田祇園など文化遺産の積極的な情報発信
- ・世界文化遺産登録に向けた市民関係団体との交流や関連市町村との連携の強化
- ・日本遺産に認定された咸宜園跡等の活用



咸宜園を案内する日本遺産子どもガイド

*4 文化ボランティア

文化芸術に自ら親しむとともに、他人が親しむための手伝いや手助けなどを行う人。

*5 文化芸術奨励金

日田市の文化芸術の振興を目的として、九州大会以上の大会に個人又は団体で出場、出品する小学生、中学生、高校生に対し交付する奨励金。

*6 市民文化振興基金

日田市の文化の発展を目的として、市民からの寄付や募金に市の公費を合わせて誕生した基金。

*7 日田市文教祭

芸術文化団体等の活動の促進と技術水準の向上、人材の育成を目的として、毎年9月から11月に開催している芸術文化の祭典。

*8 ワークショップ

専門家の意見や助言を聞きながら、参加者自身が体を動かしたり発言する体験型の講座。

*9 アウトリーチ

講演会などに招へいたアーティストなどを地域に派遣して普及活動等を行うこと。

関連する主な計画

- ・日田市教育大綱
- ・日田市教育行政実施方針
- ・第2次日田市文化振興基本計画
- ・日田市まち・ひと・しごと創生総合戦略

目標指標

指標名	基準値 (平成27年度)	目標値	
		平成31年度	平成39年度
日田市民文化会館(パトリア日田)利用者数(年間)	159,939人	163,000人	163,000人
史跡咸宜園・咸宜園教育研究センター入館者数(年間)	21,365人	24,000人	25,000人
複合文化施設AOSE(アオーゼ)美術展示ギャラリー入場者数(年間)	—	5,000人	5,000人



日田市複合文化施設AOSE

学ぶ楽しさを増やす ～学ぶ機会に満ちる ひた～

教育・文化

5 - (3)

(3) 生涯学習の充実

- ① 社会教育の推進と生涯学習社会の形成
- ② 博物館の機能の充実
- ③ 図書館機能の充実と読書活動の推進



社会科見学を受け入れる
日田市立博物館

現状と課題

- ・日田市複合文化施設AOSE（アオーゼ）を、市民の生涯学習を支援する中核施設として位置付け、淡窓図書館、地区公民館や関係機関と連携を強化し、市民の学ぶ機会を創出することが必要です。
- ・市民の生涯学習を推進していくためには、社会教育に関する専門的知識を持った人材の育成が必要です。
- ・家庭を取り巻く環境の変化により、家庭や地域の教育力の低下が指摘されています。子どもたちの安全・安心な居場所づくりや、青少年の規範意識^{*1}の向上のため、地域や学校、公民館の連携を図ることが必要です。
- ・博物館においては、今後も引き続き日田の自然や歴史、文化の大切さを市民に伝えるための展示と生きた自然を学べる活動に取り組む必要があります。
- ・図書館では、利用者ニーズの把握による魅力的な図書館づくりや利用者が安心して快適に利用できる環境の整備が必要です。
- ・子どもがより読書に親しむために、学校及び福祉保健関係課などの関係機関と連携し、子どもを情緒豊かに育てるとともに読書に対する意識の向上を図る必要があります。

基本方針

- ・日田市公民館運営事業団など関係機関と連携し、地域の独自性を尊重した生涯学習の推進と施設の整備に努め社会教育の推進を図ります。
- ・社会教育に携わる人材育成に努め指導者としての資質の向上を図ります。
- ・学校、家庭、地域がそれぞれの役割を果たしながら相互に連携し、子どもの自己実現^{*2}を支えていく協育力^{*3}の向上と支援体制の充実を図ります。
- ・市民が未来に残すべきふるさとの自然や文化などを学べるよう、積極的に活動を行う博物館を目指します。
- ・自然や科学に関心を持つ子どもたちを育成し、自然環境の大切さを啓発します。
- ・図書館の基本的な機能の充実、安定したレファレンスサービス^{*4}の提供などサービス向上に努めます。
- ・児童生徒の読書向上と子育て支援のため関係機関と連携した取組を推進します。

*1 規範意識

道徳、倫理、法律等の社会のルールを守り、それに基づいて判断したり行動したりしようとする意識。

*2 自己実現

自分の目的、理想の実現に向けて努力し、成長する過程。

*3 協育力

学校、家庭、地域社会が連携し、それぞれの教育機能を相互に補完・融合しながら、協働して子どもを育てていくこと。

*4 レファレンスサービス

図書館利用者が必要とする情報や資料を検索し、資料等の提供・回答により利用を援助するサービス。

主要施策と主な取組

① 社会教育の推進と生涯学習社会の形成

- ・社会教育施設の役割に応じた生涯学習の推進と連携
- ・社会教育における専門性を持った人材の育成
- ・学習の意欲を支えるための地域の特色ある事業推進などの学習環境の整備
- ・子育てを地域全体で行うネットワークの形成
- ・青少年の健全な心とふるさとを愛する心を育むための「大人が変われば、子どもも変わる」理念の啓発
- ・日田市公民館の整備と維持管理

② 博物館の機能の充実

- ・博物館施設の機能の充実
- ・所蔵資料の整備と充実
- ・体験学習の場の提供と調査研究の実施

③ 図書館機能の充実と読書活動の推進

- ・蔵書の新陳代謝の推進と蔵書管理の効率化及び窓口の業務委託等による利用者サービスのさらなる充実
- ・施設活用の促進と各種グループ等の活動支援
- ・公民館との連携による遠隔地サービス *5 の充実
- ・学校及び福祉保健関係課との連携
- ・魅力ある施設環境の提供と利便性の向上による利用の促進



関連する主な計画

- ・日田市教育大綱
- ・日田市教育行政実施方針
- ・日田市まち・ひと・しごと創生総合戦略

目 標 指 標

指標名	基準値 (平成27年度)	目標値	
		平成31年度	平成39年度
公民館利用者数(中央公民館含む)(年間)	155,470人	187,000人	187,000人
博物館入館者数(年間)	2,935人	7,000人	7,000人
図書貸出延人員(年間)	57,004人	57,500人	57,500人

***5 遠隔地サービス**

振興局や振興センター管内の地区公民館を拠点として、配送による図書の貸出を行うサービス。

学ぶ楽しさを増やす ～学ぶ機会に満ちる ひと～

教育・文化

5 - (4)

(4) スポーツ・レクリエーションの振興

- ① スポーツ実施率の向上
- ② 競技スポーツの振興
- ③ スポーツによる交流人口の増加
- ④ 施設利用の向上
- ⑤ スポーツボランティアの振興



椿ヶ鼻ヒルクライムレース

現状と課題

- ・市民がスポーツ等を行うことは生活習慣病の予防や健康寿命^{*1}の延伸、一人ひとりの生きがいにつながるため、運動・スポーツの実施率の向上を図る必要があります。
- ・日田市のトップアスリート^{*2}の情報を発信し市民が選手に声援を届けることは、さらなる活力を生み出します。また、そのような声援の中、成長した選手が後進の指導者として活躍するという好循環を生む雰囲気づくりも重要です。
- ・日田市体育協会をはじめスポーツ関係団体の多くは、競技者の高齢化や競技人口の減少といった課題を抱えています。
- ・交流人口の増加と地域経済の活性化を図り、本市の認知度やイメージを高めるため、スポーツを通して日田市が持つ様々な魅力を内外に積極的かつ戦略的に発信することが必要です。
- ・スポーツ施設は安全で安定的な利用を図るための管理と整備が必要です。しかし、今後の利用状況によっては、市の将来的な財政負担も踏まえた施設ごとのあり方について検討を進める必要があります。
- ・スポーツイベント等には多くのサポートをする人によって成立するものですが、イベント等の支援体制の充実を図る中で啓発や普及を図り、スポーツボランティア^{*3}の育成を目指すことが重要です。

基本方針

- ・スポーツ実施率向上のため手軽な運動内容の普及と機会の創出を図ります。
- ・郷土のトップアスリートの活動支援とともに情報発信に努めます。
- ・各スポーツ関係団体の競技力向上と競技振興等の課題解決を図るため、各組織と相互の交流を促進します。
- ・スポーツツーリズム^{*4}の振興を図り、日田市が持つ様々な魅力を内外に積極的かつ戦略的に情報発信しスポーツによるシティセールス^{*5}の強化に努めます。
- ・スポーツ施設の計画的な環境整備を行うとともに持続可能な管理を推進します。
- ・スポーツイベント等の支援体制の充実を図る中で啓発や普及を図り、スポーツボランティアの育成を目指していきます。

*1 健康寿命

健康上の理由で日常生活を制限されずに過ごすことができる年齢。全国と都道府県の値が3年に1回公表される。

*2 トップアスリート

競技者(アスリート)の中でも一流と認められる人。

*3 スポーツボランティア

スポーツ団体やクラブで運営や指導を日常的に支えたり、スポーツ大会などの運営を支えるボランティア。

*4 スポーツツーリズム

スポーツの観戦や大会等への参加、周辺の観光を含みスポーツに関連して行われる旅行。

*5 シティセールス

都市の魅力や個性を発掘・育成し、発信することにより、都市のイメージやブランド力を向上する取組。

主要施策と主な取組

- ① スポーツ実施率の向上
 - ・市民の誰もができる生涯スポーツ *₆ の普及
 - ・市民スポーツの設定と定着
 - ・中学校部活動における地域指導者の円滑な活用
 - ・スポーツ推進委員協議会活動の充実
- ② 競技スポーツの振興
 - ・トップアスリートの活動助成
 - ・トップアスリートの情報発信と顕彰
 - ・日田市体育協会の競技力向上への支援
 - ・各種競技団体の連携と協働
- ③ スポーツによる交流人口の増加
 - ・スポーツコンベンション *₇ の振興
 - ・スポーツイベントの充実
 - ・国際スポーツ大会事前キャンプ地 *₈ 誘致
- ④ 施設利用の向上
 - ・計画的なスポーツ施設の整備と維持管理
 - ・国際スポーツ大会事前キャンプ地誘致に伴う施設の整備
 - ・スポーツ施設のあり方の検討
- ⑤ スポーツボランティアの振興
 - ・スポーツイベントボランティア *₉ の育成と組織化



各地区で行われる体力テスト

関連する主な計画

- ・日田市教育大綱
- ・日田市教育行政実施方針
- ・日田市まち・ひと・しごと創生総合戦略
- ・日田市スポーツ振興計画後期計画

目標指標

指標名	基準値 (平成27年度)	目標値	
		平成31年度	平成39年度
スポーツイベント参加者数(年間)	4,657人	5,240人	5,500人

*₆ 生涯スポーツ

生涯を通じて、健康の保持・増進やレクリエーションを目的に「だれもが、いつでも、どこでも気軽に参加できる」スポーツ。

*₇ スポーツコンベンション

スポーツに関する大会や集会。

*₈ 事前キャンプ地

国際スポーツ大会などで各国・各地域の選手団が大会前に行うトレーニングの合宿地。

*₉ スポーツイベントボランティア

スポーツボランティアのうち、スポーツ大会などにおいて大会の運営を支えるスタッフ。

学ぶ楽しさを増やす ～学ぶ機会に満ちる ひと～

教育・文化

5 - (5)

(5) 互いに尊重しあえる 社会の実現

- ① あらゆる人権課題への施策の推進
- ② 社会教育における人権教育の充実
- ③ 学校教育における人権教育の充実



現 状 と 課 題

- ・同和問題をはじめ様々な人権問題につながる差別や偏見をなくすため、教育・啓発活動に取り組んできました。しかし、近年ではインターネットを利用したひぼう・中傷やヘイトスピーチ*₁、LGBT*₂など新たな人権課題も生まれ、これらにも対応した指導者育成と継続的な人権意識の啓発を重ねることが必要です。
- ・部落差別のない社会を実現するため、部落差別の解消の推進に関する法律に基づいて、差別の解消に向けた取組を充実することが求められています。
- ・公民館等では様々な年齢層に応じて、地域の課題や意見を反映したテーマと内容による学習会を開催し人権意識の向上を図っています。今後も各関係機関・団体と連携した人権教育の推進が必要です。
- ・学校教育では参加体験型を取り入れた人権学習や各学校主催の人権講演会等の人権教育を計画的に実施し、児童生徒の人権に関する知識の習得や自己肯定感の育成に成果が現れています。しかし、自分や相手の人権を守る具体的な行動力のさらなる育成が必要です。

基 本 方 針

- ・日田市人権施策基本計画*₃に基づき、あらゆる差別の早期解決に向けて家庭、地域、職場等における人権意識の啓発の推進と相談や支援体制の確立に努めます。
- ・部落差別の解消に向けて、国、県や他の市町村との連携を図りながら地域の実情に応じた取組を推進します。
- ・日田市人権教育基本方針*₄に基づいて社会教育における人権教育を推進します。
- ・学校教育における人権教育や教職員研修の充実と地域や関係機関等の連携に努めます。

自治会における人権学習会



日田市人権講演会の様子

*1 ヘイトスピーチ

特定の人種や民族、宗教などをおとしめたり、あるいはそれらへの差別をおおったりする憎悪の表現。

*2 LGBT

一般的に、レズビアン(女性同性愛)、ゲイ(男性同性愛)、バイセクシュアル(両性愛)、トランスジェンダー(性同一性障害などの性別違和)を指す。

*3 日田市人権施策基本計画

様々な人権課題に関する施策の総合的かつ効果的な推進を図るための指針となる計画。

*4 日田市人権教育基本方針

日田市における人権教育を総合的に推進するための基本方針。

主要施策と主な取組

- ① あらゆる人権課題への施策の推進
 - ・学習内容の工夫等による啓発学習の充実
 - ・部落差別に関する相談体制の充実と教育や啓発の推進、実態調査の実施
 - ・県等の関係機関との連携による指導的人材の育成
 - ・国や県等の関係機関との連携による人権に関する相談や支援体制の確立
 - ・「人権に関する市民意識調査」の結果及び分析による人権施策の推進
- ② 社会教育における人権教育の充実
 - ・体験的参加型学習会の拡充と人材の育成及び活用
 - ・公民館等での人権学習活動の充実
- ③ 学校教育における人権教育の充実
 - ・人権尊重の視点に立った学校体制づくりの推進
 - ・人権教育の指導内容と指導方法の充実
 - ・教職員研修の充実
 - ・家庭、地域や関係機関及び小中学校と高等学校等の連携



小中学校での人権ワークショップ活動



「人権の花」運動

関連する主な計画

- ・日田市教育大綱
- ・日田市教育行政実施方針
- ・日田市人権教育基本方針
- ・日田市人権施策基本計画



大分県人権啓発
イメージキャラクター
「こころちゃん」

目標指標

指標名	基準値 (平成27年度)	目標値	
		平成31年度	平成39年度
「学習サイクル」に則った体験的参加型学習を受けた児童生徒の割合	70%	90%	100%

